

へきなん

議会だより

平成19年
12月市議会定例会

- 審議された議案 ——— 2～3
- 市政を問う・一般質問 3～6
- 委員会の研修報告 ——— 6～7
- 議会の窓 ——— 8

発行 碧南市議会 碧南市松本町28番地
電話 0566-41-3311 FAX 0566-41-9900
ホームページ
<http://www.city.hekinan.aichi.jp/>



碧南の公共施設：ものづくりセンター（汐田町1丁目TEL43-5031）

美術館の設置、管理に関する条例など

議案23件と請願4件を審議

12月市議会定例会

議案

平成19年12月市議会定例会は、12月6日から20日まで、15日間の会期で開催しました。会期中に条例12件、補正予算7件、その他4件の合計23件と、請願4件、意見書1件を審議。また、議長辞職に伴い、議長の選挙を行ないました。

このうち、請願4件は不採択とし、これ以外はそれぞれ原案どおり可決、その後、常任委員会等の行政視察報告、特別委員会の中間報告をしました。

議長の選挙

榑宜田政信議長の辞職の許可に伴い、議長の選挙が行なわれ、榑山光徳議員が選出されました。



榑山光徳議長

条例の改正

- 碧南市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例
市長の選挙のピラの作成を1万6000枚まで公費負担とする、新たな条例です。
- 碧南市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告による市職員の勤勉手当などの一部改正です。
- 碧南市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
職員の国内旅費の日当を廃止、旅行雑費とし、海外への支度料も廃止する改正です。

- 碧南市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
市民病院の産婦人科病室を、患者確保および利用実態にあわせ、個室に変更するための改正です。

- 碧南市老人医療費助成に関する条例を廃止する条例
県の医療制度で、対象のない老人医療制度が廃止となったため、廃止するものです。
- 碧南市元気づ子医療費助成に関する条例の一部を改正する条例
県の子ども医療費の拡大に伴う条例改正です。

- 碧南市障害者医療費助成に関する条例等の一部を改正する条例
健康保険法等の改正によるものです。
- 碧南市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
保健センター運営協議会の組織改正、およびかくたん検査の廃止による改正です。

- 碧南市藤井達吉現代美術館の設置及び管理に関する条例



▲12月市議会本会議

美術館設置に伴い、新たに制定する条例で、開館時間は午前9時から午後9時、月曜日休館となります。

- 碧南市美術品購入審議会条例を廃止する条例
資料収集については今後、美術館の協議会が行なうため、条例を廃止するものです。

- 碧南市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
美術館協議会の委員の報酬を定めた改正です。

- 碧南市職員の公益法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例
4月に衣浦東部農業共済事務組合が解散し、新たに西三河農業共済組合が設立され

補正予算

- 碧南市一般会計補正予算(第2号)

歳入・歳出に5億4627万6千円を増額し、歳入・歳出の総額をそれぞれ317億7305万2千円としました。

歳入では法人市民税の増額により、財政調整基金の繰入の取り止め、市債の借入れ取り止めを内容としています。歳出の主な内容は、次のとおりです。

- ▽ 鷲塚児童クラブ増設整備
- ▽ 市民病院駐車場用地購入による繰出事業
- ▽ 生活道路整備事業
- ▽ 明石公園のコースター周辺整備工事
- ▽ 小中学校の遊具修繕等
- 碧南市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
歳入・歳出にそれぞれ1億663万5千円を増額。
- 碧南市老人保健特別会計補正予算(第1号)
歳入・歳出にそれぞれ155万4千円を増額。

市政を問う

12月市議会定例会 一般質問

8人の議員が市政の課題などを質問

12月市議会定例会では、12月6日・7日の2日間、8人の議員が市政の課題や方針、市の将来計画などについて一般質問をしました。この中から、主なものを要約して掲載します。

医療体制の確立と、環境改善について

石川 輝彦

問 日本全国で産科や小児科の医師不足が指摘されるなか、市民病院の医師不足

の実態と医師確保に向けた取り組みは。

答 研修医が病院を選ぶようになったことと、過酷勤務により開業医が増加。さらにリスキの高い診療科を避けるようになったことに



▲全国的な問題となっている、医師・看護師確保対策

より、現在6名の医師が不足。その対応として、大学

医局に派遣要請と、研修医を積極的採用。また魅力ある病院作りに努めている。

問 西三河南部医療圏で検討委員会が開催されているが、検討状況と方向性は。

答 圏域の救急医療の現状を確認し、ワーキンググループを立ち上げた。今後は、広域的な夜間・休日の小児救急センターの検討に向かうと想定される。

問 碧南市のCO₂排出量の実績と削減目標は。

答 排出量は把握していない。目標も定めていない。

問 CO₂削減に向けた市民向けの仕掛けづくりは。

答 まずは自分たちの身の回りからできることを重点に、啓発活動に努めている。

●碧南市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
歳入・歳出にそれぞれ2億6088万8千円を増額し、歳入・歳出それぞれの総額を31億4668万7千円としました。

●碧南市訪問看護事業特別会計補正予算（第1号）
歳入・歳出にそれぞれ1529万4千円を増額。

●碧南市介護保険特別会計補正予算（第2号）
保険サービス事業勘定で歳入・歳出にそれぞれ6112万8千円を増額。歳入・歳出それぞれの総額を1億3107万2千円としました。

●碧南市病院事業会計補正予算（第1号）
資本的収入支出の予定額を2477万8千円補正。コンピュータシステム更新業務の委託を19年度と20年度にする補正です。

その他議案等

●愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更

●衣浦東部農業共済事務組合規約の変更

●衣浦東部農業共済事務組合の解散

●衣浦東部農業共済事務組合の解散に伴う財産処分

衣浦東部農業共済事務組合の解散に伴い、事務の継承や、解散に必要な議会の議決、財産処分などが、それぞれ議決されました。

請願等の結果

●看護職員確保法の改正を求める請願（不採択）

●深刻な医師不足打開のための法制定を求める請願（不採択）

●介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願（不採択）

●中学生通院医療費の無料化を求める請願（不採択）

●地方税財源の拡充についての意見書（可決）

「地方法人二税の見直しは、真の地方分権に逆行する」等の内容で、国会・政府に意見書を提出しました。

**無我苑と
環境問題について**
原田ちよ子



▲無我苑と応仁寺を結ぶ哲学の小径

問 無我苑観月コンサート
を恒例化しては。

答 今年度は、9月22日に
開催。300人の観客があ
り、好調なので恒例化して
いく。

問 無我苑のフォトコンテ
ストを企画提案するが。

答 今後の参考に
する。

問 無我苑の案内ガイドの
状況についてたずねる。

答 現在数名の申し出があ
り、準備を進めている。今
後は案内ガイドの周知を行

い、依頼実績によって本格的に広報で公募したい。案内範囲は無我苑、応仁寺、油ヶ淵を結ぶ哲学の小径を、おおむね1時間程度で紹介する。

問 無我苑のボディソニックの設備機器更新を。

答 買い替えの方向で検討する。

問 ゴミ袋の配布枚数の改善を。

答 ごみ処理基本計画の改訂の中で検討していきたい。

問 バイオディーゼルの進捗状況について問う。

答 碧南市でも、導入の方向で検討している。

問 マイバッグ強化と、レジ袋の有料化について問う。

答 業者への協力、消費者へのマイバッグ持参の普及を図っていききたい。

**妊婦検診14回無料、
75歳以上医療無料に**
山口 春美

問 3期目永島市政は、美術館強行、保育園民営化に続き、図書館、公民館など22部門63ヶ所の公共施設を民営化対象に。職員パート



▲健康第一、始まる高齢者医療制度（浜尾憩いの家での元気な皆さん）

り、拡大は考えていない。妊婦検診は4月から14回に拡大する。

問 後期高齢者医療制度は、負担と差別医療を押し付ける「うばすて医療」中止撤回を求める。75歳以上の一人暮らし高齢者福祉給付金制度（医療無料制度）の存続と、現物給付に。

答 県が削減する対象者を、市は継続する。また、現物給付にする。

**教育環境整備と
市民サービス向上**
大竹 敦子

問 20年度以降の学校図書館専門司書の配置予定は。

答 本年度、モデル校が着実に成果をあげている。20年度には全小学校に司書が配置されるよう努める。

問 学校内の早期問題解決のため、スクールソーシャルワーカーを導入しては。

答 現在、市内の小中学校



▲棚尾小学校の学校図書館

問 市役所の窓口業務の時間延長と、業務内容の拡大を。

答 当面は考えていない。

問 市内の公共施設の障害者用駐車スペースを、特定高齢者や妊産婦の方も利用できるよう拡大してはどうか。

答 車椅子マークの場所に、各団体・機関発行のマークで駐車できるように努めている。

美術館・まちづくり・進路指導

生田あきひさ

問 美術館の概要・運営と、特別企画の内容を問う。

答 予算の歳入は観覧料、および使用料収入として1千万円余を見込み、歳出の平成20年度の事業総額は人件費を除き1億2400万円余となり、2年目以降は9600万円余の見込みだ。人事については館長に愛知県美術館の職員、以下6名の正規職員で運営する。

オープン企画は、斉藤与里、高村光太郎、津田清楓の作品の紹介をする予定。

問 まちづくりの進め方について。

答 行政主導から住民発意というところで、職員の意識改革を進め、地域の担い手を育成し、市民と行政の協働の推進に努めたい。また、均等化から集約化ということとは、本市は地域的な集約化でなく、会議所や商店街と協力・連携し、支援をしていきたい。

問 ニートやフリーターなど増加している。進路指導の充実を。

答 ニート、フリーターと正規職員の生涯賃金の差異等を、具体的に数値を示して授業を実施し、生徒が働くことの喜びや、厳しさを学ぶように取り組んでいる。



▲まちづくり交付金で進む辻広場整備事業

全国学力テストと市美術館について

岡本 守正

問 全国一斉学力テストに、碧南の小中学生も参加した。全国で学校の序列化と過度な競争などが生じると、不満の声が上がっている。

答 学力テストに生徒の番号と名前を記入しているが、学習塾にデータが漏れる恐れがある。全国学力テストはやめるべきだ。



▲4月にオープン予定の藤井達吉現代美術館

答 全国学力テストは、今後も行なう。しかし、生徒の名前は記入させない。

問 鷲塚小学校1棟館は、昭和43年に建設されている。早く立て替えを。

答 平成21年度に耐力度調査をし、その結果に基づき国庫補助を受けて建て替える。

問 碧南の豊かな財政力を使い、平成20年度より小学校3年生までと、中学校1年生の少人数学級の

実現を。

答 そのような予定はない。

問 碧南市藤井達吉現代美術館は、当初郷土資料館の予定だった。反対を押し切って美術館にした。館内に常設の郷土資料展示室を設けることと、また資料はどこに保存するのか。

答 美術館の多目的室で、歴史資料、収蔵作品を展示する。資料は、図書館中部分館2階の市史資料調査室で保存する。

場外舟券売場 学校給食の食育計画

下島 良一

問 中松町一丁目、場外舟券売場の候補地として申請されていることを市長は知っているか。今後申請の手続きが必要となる。現在の進展状況は。

答 噂は聞いているが、正式な話はないので、知らない。

問 場外舟券売場予定地は、文教施設の海浜水族館、体育館が500m以内であり、子どもへの影響や、地域の安全、風紀のみだれなど、治安上からもふさわしくない。市長の見解を示されたい。

答 市に意見が求められた段階で、判断したい。

問 愛知県は県下37消防本部を9本部に統合する計画。衣浦東部消防局のさらなる広域化計画案に、市長は反対の態度を明確に示せ。

答 5市と協同し検討する。

問 政府は学校給食の目的を「栄養改善」から「食育」に変更することを検討して

委員会の視察報告

平成19年度は、9月から11月の間で、3常任委員会や特別委員会等の委員会研修が行なわれました。主な内容をお知らせします。

総務委員会

番組等を制作。オフィス開設以後、団体の自立・連携意識の向上、情報収集・提供機能の充実が図られた。

利用登録団体数や、ホームページアクセス数も着実に増加傾向にあり、協働への関心も高まりつつある。

◆その他の研修内容

CATV屋外放送システム整備事業（兵庫東南あわじ市）
地域安心安全情報共有システム（京都府城陽市）

福祉文教委員会

10月3日～5日
【総合保健福祉センター】

（岡山県玉野市）

総合保健福祉センターは、今までの施設が手狭となり平成13年に建設。健康、医療、福祉に関する多様なサービスと、様々な交流・集會施設を取り入れている。

健康増進として乳幼児や栄養相談等を行う健康ルーム、機能の回復訓練を行うはつらつルーム、調理実習のできるクッキングスタジオなどがある。



▲刈谷市にある衣浦東部広域連合消防局

答 先ず樹木を伐採し、車で運び出す。土砂等の撤去範囲は、上塚橋下流約2万3500平方メートル、上流約2800平方メートルの部分を撤去する予定。

問（仮称）総合福祉センター建設の進捗状況をたずねる。

答 現在まで7回の会議を開催および視察を実施し、検討を重ねている。関係団体からの要望は、現行の心身障害者福祉センター機能の継続、浴室の設置、喫茶、パン工房、調理室、リハビリテーション

等様々なものが出ている。現在、各団体等とヒアリングを重ね、検討中である。年度内にも意見を集約する予定である。

問 「貯筋ルーム」筋トレ機器の利用時間の拡大を。

答 週4日午前中の開館を、20年度から土日も加え、週6日に拡大する。午後も行なう。

問 玉津浦グラウンドの整備を。

答 防球ネットは高さ5m、延長40mで、新年度予算で設置する。外野部分の排水対策は、素掘水路を早急に実施。A・Bグラウンドの間の盛り土は、必要性を精査し、対応する。

土砂と樹木の撤去、総合福祉センター

宮田 裕之

問 矢作川中洲の土砂と樹木の撤去工事の内容について。



▲矢作川中洲の土砂と樹木撤去

10月3日～5日

【まちづくり協働オフィス事業】

（愛媛県新居浜市）
 市民と行政との協働関係の整備を目的として、昨年7月にオフィスを開設。

業務を受託したNPO法人が運営主体となり、既存公共施設の一室で情報紙発行、座談会や、ワークショップの開催、CATV広報



▲まちづくり協働オフィス

障害者支援としては、障害者交流教室、福祉の店、作業所、工房など。また24時間利用可能なボランティアセンターを設けている。ほかに、ホールや会議室・研修室、畳敷きの教養娯楽室を設けている。施設は多目的に利用でき、高齢者や子ども、障害者、ボランティアが利用できる交流施設である。

◆その他の研修内容

美術館機能強化について

（広島県尾道市）
子どもの居場所づくりについて
（高知県土佐市）



▲玉野市総合保健福祉センター

経済建設委員会

10月17日～19日

【日本一きれいなまちづくり推進事業】

（大分県大分市）

この事業は、市民・事業者・行政の協働により、「ポイ捨てのない」「清掃がいきとどいた」「花一杯」の日本一きれいなまちをめざしている。

イベント事業として、一日道路河川愛護デー、市民いっせいごみ拾い、河川クリーンアップ・キャンペーン、また、恒常的事業として、大分おはよう清掃、フラワーポット里親事業、公園等の清掃・除草・草刈りに取り組んでいる。

◆その他の研修内容

商業集積事業及び鉄道高架化事業（宮崎県日向市）

大分エコライフレゾ

（大分県大分市）

街並み環境整備事業

寺町回廊の整備事業

（大分県中津市）



▲大分市のリサイクルプラザ工場

まちづくり事業特別委員会

9月27日～28日

【歴史と未来がとけあうにぎわいのまちづくり】

（兵庫県篠山市）

平成16年に重要伝統的建造物保存地区に選定され、住民と行政が一体となって、まちづくりを推進している。篠山城跡を核として、武家町、商家町の地割など、城下町の基本的構造がよい形で残されている。年間10件程度の建造物の修理で歴史的町並みを保存し、町の活性化を図っている。

【うだつの上がる町並み整備事業】（岐阜県美濃市）
江戸時代に和紙によって財をなした、商人が築いた町家の町並み。建物の両妻側に建ち上がった「うだつ」が19棟も残っている所は珍しい。電線の地中化、歴史的町並みと調和する舗装・標識・照明灯、空き店舗対策を住民一体となって取り組み、都市再生、風情あるまちづくりを進めている。

臨海対策特別委員会

10月22日～23日

【阿賀マリノポリス整備事業】

（広島県呉市）

この整備事業は、かたよった産業構造の解消や幹線道路網の整備促進を目的として、平成2年に総面積90鈔の埋立てが計画された。現在まで46鈔を埋立て、578億円の事業費である。呉市単独の特別会計で処理され、予想以上に費用と時間を要し、計画事態を見直さざるをえない状況である。今後は、すでに埋立てが完了した土地を工業用地として早期に売却に努めるとのことだ。

◆その他の研修内容
港湾及び石油基地の防災対策（広島県大竹市）



▲呉市の阿賀マリノポリス整備

議会運営委員会

11月5日～6日

【議会改革について】

（京都府京丹後市）

京丹後市は、平成16年4月に6町が合併した新しい市。厳しい財政状況にあつて議会改革の必要性から議会改革特別委員会を設置した。開かれた市議会とするため、市民アンケートや懇談会、パブリックコメント、勉強会等を行い、議会のあるり方を含めた見直し（議員定数、議員報酬、政務調査費）や議会基本条例案を策定した。

【本会議のインターネット中継について】

（滋賀県長浜市）

昭和28年建設の市庁舎がバリアフリー化されていないため、4階にある議場への高齢者や障害者の傍聴に支障を来していた。このため、家庭用パソコンで議会の様子や内容を見たい時に見たい部分の映像を見ることができ、「録画配信サービス」を行い、市民に受け入れられ身近な議会となっている。

議会の窓

「放課後子ども教室」 試行が始まった

福祉文教委員長
石川輝彦

平成19年11月1日から平成20年3月31日の予定で、柵尾小学校区をモデルにして「放課後子ども教室」の試行が始まっています。

現在、碧南市には各小学校区に「児童クラブ」が設置されています。この「児童クラブ」は、厚生労働省が所管する事業で、共働き家庭など留守家庭の10歳未満の児童を対象に、放課後や夏休みなどの長期休暇中に適切な遊びや生活の場を与えて、その健全な育成を図っています。しかし、この児童クラブが利用できない児童が増加するなど、総合的な放課後児童対策が必要となりました。

この「放課後子ども教室」は、すべての児童を対象に、

安心で安全な子どもの居場所を提供し、地域の方の協力により、遊びや学習を通して、人間関係の充実や異世代交流を目的に、平成16年度より文部科学省が緊急3ヶ年計画として取り組み始めたものです。

柵尾区民館（柵尾ふれあい館）での「放課後子ども教室」は、柵尾小学校開校日の水・木・金の午後3時30分から午後5時を開設時間とし、市体育指導委員と教員OBの指導員、全体の計画を行うコーディネーターの3名で、この子どもたちを見守りながら指導にあたっています。未来を背負う子どもたちの健全育成に一躍を担う拠点施設となるよう願うものです。



▲始まった「放課後子ども教室」

3月定例会は 2月18日(月)に開会予定

3月市議会定例会の本会議第1日は、2月18日(月)に開会し、会期日程は3月13日(木)までの25日間の予定です。3月定例会の日程

は、2月8日(金)開催の議会運営委員会で決定しますので、これ以降に議会事務局(☎41-3311)でご確認ください。本会議の開会時刻は午前10時です。傍聴は先着順に受け付けますので、ぜひ一度おかけください。

3月定例会の予定

- 2月 8日(金) 議会運営委員会
招集告示日
- 18日(月) 本会議第1日
市長招集あいさつ
議案上程
施政方針
教育行政方針
- 27日(水) 本会議第2日
総括質疑
- 28日(木) 本会議第3日
総括質疑
予算審査特別委員会
- 3月 3日(月) 総務委員会
総務分科会
- 4日(火) 福祉文教委員会
福祉文教分科会
- 5日(水) 経済建設委員会
経済建設分科会
- 7日(金) まちづくり事業特別委員会
- 11日(火) 予算審査特別委員会
議会運営委員会
- 13日(木) 本会議第4日
総括質疑の様様を「キャッチ16ch」で午後6時から放映します。
(2月27日分は28日に放映)
(2月28日分は29日に放映)
※施政方針2月18日分は、2月19日の午前7時～、12時～、午後4時に放映。



こちら編集委員会

先日、エドモンズに議員派遣団の一員として視察してきました。学校は6・2・4制。登校拒否、いじめ問題も日本同様にあるとのこと。部活動は平日のみで、休日は地域のスポーツクラブで活動、人気のスポーツは野球。最近ではサッカーをする子どもたちが増えたそうです。【磯貝】

最近、市民の皆様のお話を聴く機会が多くありました。市の将来について真剣に考えておられる市民の多いことに驚きました。市政の一翼を担う議会人としては、税金の使い道をより真剣に考えないと申し訳ないと痛感している今日この頃です。【瀬垣田】

毎年年末に、世相を表す漢字が、「今年の漢字」として発表されている。昨年は「偽」だった。年金記録や政治資金、防衛省など、政治の偽り、白い恋人や赤福など食の偽装が相次いで偽りに振り回された一年だった。今年は明るい楽しい字が選ばれることを期待したい。【杉浦】



エドモンズ市へ議員訪問

今回で2回目。市民派遣団と同行し10月29日から8日間、友好と議員研修のため、エドモンズ市へ視察しました。(エドモンズ市の市長等と派遣団)